

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年3月15日（金）

2 確認箇所

- ・ALPS処理水移送配管
- ・測定・確認用設備（K4タンクエリア）
- ・多核種移送設備建屋
- ・監視制御装置（免震重要棟集中監視室）

3 確認項目

- （1）ALPS処理水放出設備の地震による影響確認
- （2）ALPS処理水放出再開に向けた設備の運転状況の確認

4 確認結果の概要

3月15日（金）0時14分頃に福島県沖を震源とするマグニチュード5.8の地震が発生（震度5弱：楢葉町、震度4：大熊町、双葉町及び富岡町）、ALPS処理水の放出を停止（ALPS処理水海洋放出を停止する自然現象^{*1}の対応手順に基づく）したことから、地震後のALPS処理水放出設備の状況を確認した。（図1）

また、ALPS処理水放出設備等に異常がないことが確認され、同日中にALPS処理水の放出が再開となったことから、ALPS処理水放出再開状況について確認を行った。

（1）ALPS処理水放出設備の地震による影響確認

○ALPS処理水移送配管の状況

- ・ALPS処理水を移送する役割であるALPS処理水移送配管を目視で確認したところ異常は見られなかった。（写真1）

○測定・確認用設備（K4タンクエリア）の状況

- ・測定・確認用タンクやその周囲、現場盤を目視で確認した範囲に異常は見られなかった。（写真2）

○多核種移送設備建屋の状況

- ・堰や漏えい検知器に異常がないことを確認した。（写真3）
- ・サンプルタンク循環ポンプが停止していることを確認した。（写真4）

（2）ALPS処理水放出再開に向けた設備の運転状況の確認

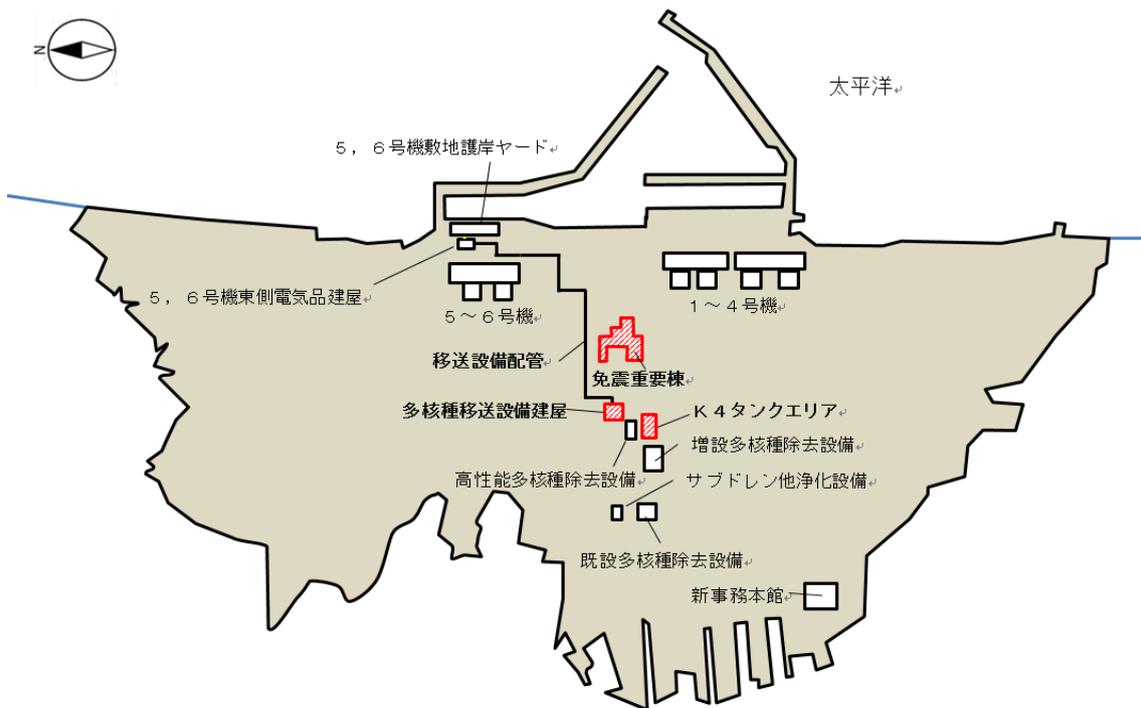
○監視制御装置の操作状況

- ・監視制御装置の操作は、操作指揮者の指示のもと、操作手順書に従い操作員が復唱及び手順書と操作モニタを指差呼称による確認をしながら操作を進めていた。（写真5）

- ・手順書にはホールドポイントがいくつか設けられており、ホールドポイントまで操作が進んだ際は、当直長が再度手順を振り返りながら操作手順に誤りがないか確認していた。
- ・ALPS処理水の放出再開にあたり、漏えい検出器の作動やその他警報の発生はなかった。

※1 ALPS処理水海洋放出を停止する自然現象

- ①立地4町での震度5弱以上の地震（設備が機能喪失した場合の影響を最小化）
- ②津波注意報（海拔2.5mの設備が損傷するおそれ）
- ③竜巻注意報（設備損傷のおそれ）
- ④高潮警報（海面との水位差による海洋放出ができないおそれ）
- ⑤その他（上記以外に異常の兆候があり、当直長が停止する必要があると認める場合）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1-1)
ALPS 処理水移送配管の確認状況①



(写真 1-2)
ALPS 処理水移送配管の状況②



(写真 2-1)
K4 タンクエリア周りの状況①



(写真 2-2)
K4 タンクエリア周りの状況②



(写真 3)
漏れ検知器の状況



(写真 4)
サンプルタンク循環ポンプの状況



(写真 5)
監視制御装置の操作状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。